

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日:令和5年2月16日

事業所名: 東部・西部子どもホーム

事業所職員及び保護者の方の御意見を踏まえ、自己評価の結果を公表します。
 評価を踏まえて、事業所の運営における課題点及び改善すべき点を確認し、今後の運営に活かしていきます。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標	
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	○				87%	3%	0%	10%	施設内、見たことないです。満足しています。木工施設をもっと増やしてほしい。	基準を満たす広さを確保したうえで、事故や怪我が無いよう気を付けております。保護者の方にも見ていただく機会を設けていければと思います。
	2 職員の適切な配置	○			安全に療育できるよう利用者の人数に合わせて職員配置を調整しています。	87%	0%	3%	10%		安全に療育できるよう職員配置をしておりますが、何かございましたらお問い合わせください。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障がいの特性に応じた設備整備	○			完全なバリアフリーとは言えないが、今ある設備の中で、利用者にわかりやすく、使いやすく、と努力をしています。	90%	7%	0%	3%		施設を利用する全ての方にとってわかりやすい環境になるよう、ご意見をいただきながら常に改善していきたいと考えています。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	○			感染症対策を第一に考えながら、その中で心地よく過ごせる環境になるよう努力しています。	97%	0%	0%	3%	施設内、見たことないです。	事故や感染への対策など環境に気を付けております。保護者の方にも見ていただける機会を設けていければと思います。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	○									
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	○			定期的な外部委員による審議会での評価を行い、業務改善に努めています。						
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	○			オンラインによる研修会が通常環境となることで、学びの機会も再び増えてきています。						
適切な支援の提供	1	○			市内の感染状況により、対面でのアセスメントの機会が確保できなときもあるが、丁寧に行うように常に心がけています。	93%	7%	0%	0%	計画はしっかり立ててくれているが、言葉(文)に出さない細かい気持ちは伝わってない時がある。	課題の客観的な分析をしたうえで、利用児童と保護者の思いに寄り添った計画の作成、支援ができるよう努力していきたいと思っています。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標	
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
適切な支援の提供（ 続き）	2	○				90%	7%	0%	3%	どこまで共通理解がされているかは分からない、親の思いが細部まで伝わっていない時がある。	利用児童と保護者それぞれの思いを受け止め、信頼関係を築きより良い支援ができるよう努力していきたいと思います。
	3	○									
	4	○				97%	3%	0%	0%		
	5	○									
	6	○			季節行事的な活動や、子ども達が興味関心あるものを取り入れたりしていますが、固定化、パターン化しないよう努力していきたい。	90%	7%	0%	3%		
	7	○			平日ではできない活動を長期休暇には計画・実施するようにしています。						
	8	○			日々、事前に全体のねらいと役割分担、当日利用する児童の支援方法や特に必要な配慮などについて確認しています。						
	9	○			その日のうちに振り返りを行い、活動内容や支援内容について振り返っています。確実に次の機会に活かせるよう努力していきたい。						
	10	○									
	10	○			日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施						

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標	
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
適切な支援の提供（続き）	11	○			定期的に行っているが、見直しが必要な時にすぐ対応できるように努力しています。						
関係機関との連携	1	○									
	2	○			保護者や相談支援専門員からの情報を基本として、保護者の許可を得たうえで関連機関から必要な情報を得ている。						
	3	○			必要に応じて意見や指示をいただくようにしています。						
	4	○			支援会議の場で情報共有を行っていますが市内感染状況により、会議での十分な共有ができませんこともあります。						
	5	○			相談支援専門員を介して情報提供を行っています。						
	6	○									
	7	○			必要なことではあるが、プライバシーや受け入れ態勢も考慮しなければならないことなので、少しずつ取り組んでいきたい。	17%	10%	27%	47%	コロナ禍なので、恐らくしていないと思っています。 他の子どもと会う機会がない。	プライバシーに配慮しながら、双方に良い交流ができるよう考えていきたいと思っています。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標	
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
関係機関との連携（続き）	8			○	市開催のイベントに参加していたが、少しずつ再開されてきているので感染状況を考慮しながら、また参加していきたい。						
保護者への説明責任・連携支援	1	○				96%	4%	0%	0%		
	2	○				100%	0%	0%	0%		
	3			○	ペアレント・トレーニングは行っていないが、保護者の悩みや困りごとを聞く機会があれば、必要な時は適切な機関へつなげるようにしている。	48%	7%	14%	31%		ペアレント・トレーニングは実施しておりませんが、家族支援等に関する情報を提供させていただいています。
	4	○				90%	7%	0%	3%	お迎えに行ったとき、丁寧に教えていただいています。子どもの前で出来ないを連呼してほしくない。	
	5	○			必要であれば適切な機関へつなげるよう支援しています。	73%	23%	0%	3%		定期的なモニタリング、アセスメント以外でも、相談やお話があれば随時対応しています。
	6			○	保護者会は無いので、感染予防に配慮しながら保護者同士のつながりができる機会を企画していきたい。	10%	14%	28%	48%	保護者同士会うことはないと思う。	コロナ禍以前とは違った形での、保護者同士のつながりができるようなものを考えていきたいと思っています。
	7	○			苦情受付体制は整えています。ご意見を頂いた場合には迅速に対応するようにしています。	50%	21%	4%	25%	苦情、言ったことない。対応後どうなったかわからない。	保護者の方の思いを真摯に受け止め対応し、個人情報に配慮しながら経過、対応についての発信もしていきたいと思っています。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標	
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
保護者への説明責任・連携支援(続き)	8 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	○				86%	7%	0%	7%		
	9 定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信		○		子ども若者発達支援センターとしての会報やフェイスブックで行事の様子などをお伝えしているが、頻度や情報量は増やしていかなければいけないと考えております。	63%	13%	3%	20%		個人情報に配慮しながら、パレットレターやFacebookによりできるだけ詳しい活動内容や新しい予定などをより多く発信できるようにしたいと思います。
	10 個人情報の取扱いに対する十分な対応	○				93%	3%	0%	3%		
非常時等の対応	1 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底		○		全ての利用者に伝わるように、定期的にお知らせしていきたい。	60%	17%	0%	23%		非常時対応マニュアルについて最新のものを随時お伝えできるようにしていきたいと思います。
	2 非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	○				40%	10%	0%	50%	していると思うが、たまにしか(週1回)しか来ない人向けには分からない。	非常時に備えた訓練の計画や様子などについても随時お伝えできるようにしていきたいと思います。
	3 虐待を防止するための職員研修機会の確保等の適切な対応	○			関係機関の研修会に参加したり、職員会議で話し合いをもったりして、適切な支援ができるよう研修しております。						
	4 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	○			身体拘束適正化検討委員会で検討、リスクの高い場合のみ、本人または家族への説明同意を得て行います。記録等も行います。						
	5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	○			必要な児童には、主治医からの指示に基づきマニュアルを作成するようにしております。						

